

令和元年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画に基づく事業計画に沿って、地域住民並び関係諸団体及び行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、もって地域福祉の推進を図るため、以下の諸事業に取り組みました。

1 法人運営事業

地域包括支援体制及び社会福祉に関する協議体としての機能強化を図り、地域福祉の中間支援組織・総合支援型事業体として、次の事業を実施した。

(1) 会員制度の推進

会員制度は、本会事業を住民の協力・支持により進めるための基本的な制度であり、社会福祉事業を区、町内会及び民生児童委員等の協力により財政的支援をいただくため、会員の拡充を図った。

普通会員	市 民 会 費	16,106世帯
	施設事業所会費	25施設（市内社会福祉施設、事業者連絡協議会）
賛助会員	市民賛助会費	647篤志家・事業所
	法人等賛助会費	3会社・組合の寮保養所、36単位老人クラブ

(2) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源、施設への配分、要援護者の支援のため活用した。

ア 寄附金の受入れ

寄附件数	寄 附 総 額
25件	3,609,117 円

イ 物品の受入れ

寄附件数	寄 附 物 品
12件	車椅子 2台、納豆 3,204食、果物、ヤクルト 2,484本、タオル 271枚、ぞうきん 46枚、ペットボトルキャップ 100kg、プルタブ 21kg

※ 物品の使い道：車いすの貸出、食品は市内社会福祉施設、タオルと雑巾は災害用に備えた。

(3) 収益事業の運営

社会福祉事業及び公益事業の事業財源の確保を図るため、市内公共施設 14 か所に 19 台の清涼飲料水自動販売機を設置した。

(4) 理事会・評議員会の開催

ア 理事会の開催 (年4回)

年 月 日	審 議 案 件
令和元年5月31日 (出席者 理事13名、監事2名)	副会長の選出、平成30年度事業報告案・平成30年度資金収支計算書案の認定、令和元年度新規事業の受託、定時評議員会の開催、理事の退任報告
令和元年7月3日 (出席者 理事15名、監事2名)	会長・副会長の選任、常務理事の選任
令和元年8月26日 (出席者 理事13名、監事2名)	令和元年度資金収支補正予算(案)の認定、第2回 評議員会の開催について、会長及び常務理事の業務執行状況の報告、事業運営上の重要な影響を及ぼす事項の報告、評議員の就任報告、会費の実績報告
令和元年12月16日 (書面評決)	評議員会の開催
令和2年2月27日 (出席者 理事14名、監事2名)	臨時職員就業取扱要領の一部改正専決処分の報告承認、事務局規程の一部改正、令和元年度資金収支計算書補正予算案の認定、令和2年度事業計画案、令和2年度資金収支計算書予算案の認定、運営資金の短期借入、伊東市からの職員派遣の受入、第3回評議員会の開催、会長及び常務理事の業務執行状況の報告、磐田市社協職員の不祥事の報告、台風15号及び19号により罹災された方への見舞金支給の報告

イ 評議員会の開催 (年3回)

年 月 日	審 議 案 件
令和元年 6月20日 (出席者 評議員27名、監事2名)	理事の選任案、平成30年度事業報告案・平成30年度資金収支計算書案の認定、令和元年度新規事業の受託、評議員の就任及び退任報告
令和元年9月30日 (出席者 評議員26名)	令和元年度資金収支補正予算(案)の認定、事業運営上の重要な影響を及ぼす事項の報告、評議員の就任報告、会費の実績報告、台風15号及び19号により罹災された方へ見舞金支給の報告
令和元年12月25日 (書面表決)	理事の選任
令和2年 3月30日 (出席者 評議員20名)	臨時職員就業取扱要領の一部改正専決処分の報告承認、事務局規程の一部改正、令和元年度資金収支計算書補正予算案の認定、令和2年度事業計画案、令和2年度資金収支計算書予算案の認定、理事の選任、伊東市からの職員派遣の受入、苦情解決における第三者委員の選任、磐田市社協職員の不祥事の報告、台風15号及び19号により罹災された方への見舞金支給の報告

(5) 評議員選任解任委員会の開催 (年2回)

改正社会福祉法により評議員の選任に関して、外部委員2名、社協監事1名、事務局2名の計5名で構成する委員会を設置し、評議員の選任を行った。

回数	開 催 日	出 席 者	選任評議員数
1	令和元年8月19日(月)	外部委員1名、監事1名、事務局員2名 計4名	3 名
2	令和2年3月10日(火)	外部委員2名、監事1名、事務局員2名 計5名	10 名
3	令和元年6月3日(月)	書面表決	1 名
4	令和元年9月12日(木)	書面表決	1 名

(6) 社会福祉法人連絡会の開催

市内社会福祉法人の連携体制づくりを目的に、社会福祉法人の公益活動を進めるための情報交換及び連絡調整を行った。

ア 連絡会

- ・ 開催日時 令和元年8月19日（月）午後1時30分～午後2時50分
- ・ 場所 健康福祉センター2階 多目的ホール
- ・ 出席者 市内 11 社会福祉法人 14名（城ヶ崎いこいの里、伊豆高原十字の園、鑑石園、農協共済中伊豆リハビリテーション、子ども未来計画、厚生保育会、心友会、珀寿会、伊東つくし会、クープ、伊東市社会福祉協議会）
- ・ 欠席者 静岡県済生会、栄光会、春栄会
- ・ 内容 社会福祉法人の協働事業、連携法人制度について

(7) 子ども子育て支援事業者連絡会の開催

社会福祉法人連絡会に参加する保育園などの子育て支援事業者が子育て支援の充実を目的に各法人で課題を共有し、協働活動の連絡調整を図った。

- ・ 定例会の開催 4回（令和元年5月8日、7月8日、11月28日、令和2年2月10日）
- ・ 幼児教育・保育の無償化に係る質疑応答会を開催（令和元年7月31日）
- ・ 地域貢献活動の実施（あたたかマタニティ支援）

妊娠中の方が保育園で赤ちゃんの様子を見学し、保育士への子育てに関する相談を通して、出産前の不安や戸惑いを和らげるなど、安心して生み育てる環境づくりへの支援を行った。

(8) 苦情解決第三者委員会の開催

苦情はなく、開催していない。

(9) 静岡県健康福祉大会への参加

令和元年10月24日（木）、静岡県グランシップにおいて、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、社会福祉及び健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市から県社協会長表彰8名（民生委員 2名、施設職員 6名）が表彰され、民生児童委員関係者含め9名が参加した。

(10) 広報活動

ア 社協だよりの発行

地域福祉の推進及び本会の活動の理解を広めることを目的に年4回（9月、10月、12月、3月）“社協だより”を全戸配布（29,500戸）し、広報啓発を図った。

イ ホームページによる情報開示

市民へ迅速に情報提供を行うためにホームページの活用を行った。

(11) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上及び人材育成のため、以下の会議・研修に職員を派遣した。

ア 会長・事務局長関係会議・研修

1日 延べ 1名

県市町社協会長会議、市町社協事務局長会議等

イ 事務局職員関係会議・研修

30日 延べ 33名

生活福祉資金貸付事業担当者会議、精神保健福祉業務研修会、生活困窮相談業務従事者研修、生活困窮者自立相談員連絡会、予算管理研修、決算実務研修、会計実務研修、日常生活自立支援事業専門員研修、労働者派遣事業説明会、民協市町担当者会議、民生委員研修会、成年後見

制度実務研修、共同募金事務担当者会議、ファミサポ・アドバイザー研修会、生活支援コーディネーター研修		
ウ 介護保険事業関係職員会議・研修	35日 延べ	41名
介護支援専門員研修、介護保険サービス事業者説明会、訪問介護員研修、認定調査員研修会、障害福祉サービス事業者説明会、介護予防ケアマネジメント実務研修		
エ そ の 他	3日 延べ	9名
老人クラブ会長研修会、老人クラブ交流会		
	計	69日 延べ 84名

2 地域福祉推進事業

(1) 地域での福祉を推進する基盤づくり

地域での福祉問題を共有し解決を図るために「地域をつなぐ絆の再構築」を基本目標とする地域福祉活動計画の推進に取り組んだ。

ア 対島地域ふるさと協議会及び小室地域ふるさと協議会の運営協力

各区・民生児童員・老人クラブ・ボランティア・地域内社会福祉法人が地域の福祉課題を共有し、問題解決を図る協働の場づくりを進める事務局への支援を行った。

(2) 子どもの居場所づくりの推進

子どもたちが安心できる居場所としての子ども食堂を実施した。

ア 子ども食堂（キッチン「さくらぎ」）

- ・ 開催回数 11回（平成31年4月24日、令和元年5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、11月27日、12月25日、令和2年1月22日、2月26日）
- ・ プログラム 16:00～宿題と遊び、17:30～食事 18:00～レク・遊び
- ・ 開催場所 市健康福祉センター 2階多目的ホール・調理実習室
- ・ 参加者 447名（子ども 202名、保護者8名、ボランティア237名）

イ 岡区の子どもを対象に子ども食堂を開催した。

- ・ 開催日 令和元年7月30日
- ・ 参加者 51名（子ども 30名、ボランティア 21名）

ウ 伊東地区子どもの居場所づくり連絡会での勉強会を実施した。

- ・ 開催日 令和元年7月12日 参加者 14名
- ・ 内 容 「子ども食堂の衛生管理について」
講師 静岡県熱海保健所 衛生薬務課 川口宗太氏

(3) ボランティア登録及び保険の加入促進

ア ボランティア登録状況

- ・ 個人ボランティア 46名
- ・ 団体ボランティア 51団体 921名

イ ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動を行う個人・団体の登録及び活動中の事故に備え、保険の加入促進を行った。

- ・ 加入者数 33団体 859名、個人19名
- ・ ボランティア行事用保険 30件2,872名

(4) ボランティアニーズの需給調整

ボランティア活動を希望する個人、団体と、支援を求める施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともに地域のニーズ把握に努め、ボランティアの育成等活動の推進を図った。

相談件数	幹 旋			
	施設向け	個人依頼	活動希望	合計
18件	6件	4件	8件	18件

(5) ボランティア交流会・研修会の実施

ア 障害児者とボランティアとの交流事業

手をつなぐ育成会会員とボランティアが防災をテーマとする応急処置などの研修とゲーム、レクリエーションを通して交流を図る事業であるが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止した。

- ・ 場 所 (予定) 市健康福祉センター2階 多目的ホール
- ・ 講 師 (予定) 元海上自衛隊特別警備隊

イ 中高生福祉体験講座「街づくりプロジェクト」

市内在住の中高生を対象に障害福祉に関する理解を深めることを目的に、市内観光施設・公共施設、公共交通機関等に対し、障害のある方の視点での点検活動（バリアフリー調査）を通して、安心安全な街づくりへの理解と関心を広めた。

- ・ 実 施 4日間
- ・ 事前研修 令和元年8月2日(金) 9:30~16:30
講話「誰にとっても優しい観光地になるためには」
講師 青いかば旅行社 長谷川浩平、長谷川優子
- ・ 調査活動 8月8日(木) 9:30~16:30伊豆シャボテン動物公園
- ・ 事後研修 8月24日(土) 9:00~17:00 バリアフリー調査結果まとめ
- ・ 調査報告会 9月29日(日) 9:00~15:00 ふれあい広場において、また、12月3日~9日、伊東市役所1階ロビーにて、それぞれ活動報告と掲示を行った。
- ・ 参 加 者 11名（中高生 6名、外部講師 2名、事務局 4名）

(6) 地域福祉啓発事業の開催

ア ドキュメンタリー映画「妻の病」上映会

一人の医師と「レビー小体型認知症」の妻との10年間に及ぶ、“いのち”を巡る物語上映を通して、認知症への理解と啓発を図った。

- ・ 上 映 日 令和2年1月18日(土)2回上映 (13:30~、16:30~)
- ・ 会 場 市健康福祉センター 2階多目的ホール
- ・ 参 加 者 188名（昼 95名、夜 93名）

イ 乳幼児の母親世代を対象に、防災講座を開催し、防災意識の啓発を図った。

- ・ 内 容：防災ママカフェinいとう
- ・ 講 師：かもん まゆ氏（一社）スマートサプライビジョン特別講師
- ・ 開催日時：令和2年2月23日（日）10:30~13:00
- ・ 会 場：健康福祉センター 2階多目的ホール
- ・ 参 加 者：69名（大人 38名、こども 31名）

ウ 福祉講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

- ・ 内 容（予定）：「地域活動と被災地支援～今やること。今だからできること～」
- ・ 講 師（予定）： 李 仁鉄氏（にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）

(7) ボランティアビューロー（ボランティアグループ連絡会）の開催

ボランティアグループ8団体で構成するボランティア協会のボランティア相互の交流と情報交換を行った。

ア 定例会の開催 10回

イ その他（ボランティア研修） 1回

(8) 災害ボランティアネットワーク事業

ア 市内福祉施設及び障害福祉サービス事業者で構成する防災会議に職員が参加し、災害時支援体制づくりの連携強化を図った。

- ・ 開催日時 令和元年 7月18日(木) 会場 市役所 展望ギャラリー
- ・ 開催日時 令和元年10月24日(木) 会場 ひぐらし会館
- ・ 開催日時 令和2年 1月16日(木) 会場 中央会館

(9) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行った。

・ 福祉機器の貸出 3件

・ 講師の紹介 3件

(10) 第37回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて福祉への理解と関心を深めた。

- ・ 開催日 令和元年9月29日(日) 10:00～14:00
- ・ 会場 市健康福祉センター全館
- ・ 参加者 2,000人
- ・ 内容 バザー、バルーンアート、模擬店、活動紹介、各種相談など
- ・ 参加団体 50団体機関

(11) 第43回伊東市社会福祉大会の開催

永年にわたり社会福祉に貢献された個人・会社・団体・機関の方を表彰、また、地域で支え合う地域共生社会の実現に向けて、講演会・シンポジウムを開催、地域ぐるみの福祉の街づくりの啓発を図った。

- ・ 開催日 令和元年6月29日(土)
- ・ 会場 健康福祉センター2階多目的ホール
- ・ 参加者 120人
- ・ 講演 「い(生・逝)きかたは、自分で決める～私たちが行うACP～」
- ・ 講師 終活ジャーナリスト
ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 金子 稚子氏

3 在宅福祉推進事業

(1) ひとり暮らし高齢者交流会（ふれあいの楽しみ会）の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別 6 回、参加者 375 人により、市内公共施設（健康福祉センター、市内各コミセン）において、レクリエーションを行い、介護予防とともに参加者相互の交流により孤独感の解消を図った。

実施に当たっては、民生児童委員(56 人)の協力を得て、地域でのつながりを深めている。

(2) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

(ア) 心配ごと相談（毎週水曜日午後 1 時30分～4時・健康福祉センター）

民生児童委員による市民からの日常生活で抱える課題の相談に応じ、問題解決のための助言及び他機関の紹介を行った。相談件数は減少しているが、生活困窮や離婚、家族の病気など気軽に相談できる人がなく、問題が多様かつ多重になってきている。

相談事項 処理状況	生年 計	年 金	職業 ・ 生業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚	健康 ・ 保健	医 療	人 権 ・ 法律	財 産	事 故	母子 保健 ・ 児童 福祉	教育 青 少 年	心身 障害 児者 福祉	老 人 福 祉	苦 情	D V	そ の 他	合 計
所内解決	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
他機関紹介	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	10
合 計	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	11

(イ) 総合相談（毎週月曜日～金曜日 祝祭日を除く。）

相談事項 処理状況	生年 計	年 金	職業 ・ 生業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚	健康 ・ 保健	医 療	人 権 ・ 法律	財 産	事 故	母子 保健 ・ 児童 福祉	教育 青 少 年	心身 障害 児者 福祉	老 人 福 祉	苦 情	D V	そ の 他	合 計
所内解決	306	5	10	45	0	0	1	0	39	0	1	0	0	22	1	62	0	0	91	583
他機関紹介	5	0	2	1	4	0	7	0	1	13	26	0	0	0	2	0	5	0	15	81
合 計	311	5	12	46	4	0	8	0	40	13	27	0	0	22	3	62	5	0	106	664

(3) 無料法律相談

静岡県弁護士会沼津支部の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日健康福祉センターにて実施し、市民からの相談における法的ニーズに対応した。

- 実施日数 21日（中止1日：申込状況による。）
- 相談件数 70件

(4) 法人後見事業への取組

日常生活自立支援事業とともに、判断能力が不充分な人への権利擁護支援として、法人後見の受任をはじめ、親族後見人への支援を含む総合的な相談支援に取り組むため、成年後見制度利用が必要な人の発見・支援や早期の相談、地域の関係団体・機関とのネットワーク等

を基盤に成年後見制度の利用を促進する体制づくりに取り組んだ。

(ア) 地域連携のネットワークづくりへの取組

事業運営に関する家庭裁判所との調整、地域包括支援センター・障害者相談機関との情報交換を図り、利用者ニーズの把握に努めた。

(イ) 相談・支援体制づくりへの取組

- ・ 法人後見事業運営委員会の開催

開催日 令和2年2月26日（水） 開催場所 市健康福祉センター2階多目的ホール

出席者 市高齢者福祉課、社会福祉課、中央包括支援センター、社協 5名

- ・ 地域包括支援センターとの情報交換
- ・ 成年後見制度市町中立に係る実務研修（令和元年6月25日 三島市）
- ・ 成年後見制度に係る中核機関化促進研修（令和元年9月6日 三島市）
- ・ 家事関係機関等連絡協議会（令和2年2月14日 沼津市）
- ・ 成年後見制度に係る中核機関化促進研修（令和2年2月28日 静岡市）

(ウ) 法人後見業務の受任

- ・ 受任件数 1件（前年度から継続）
- ・ 申立件数 1件（保佐相当）

(5) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施した。

車椅子	ポータブルトイレ	その他の福祉用具
50件	8件	4件

※その他の福祉用具：シャワーチェア等

4 受託事業

(1) 健康福祉センターの指定管理運営（指定管理期間：平成29年度～令和3年度）

子育て支援、市民の健康づくり、高齢者の生きがいづくり等介護予防、地域活動の拠点施設の管理運営を行った。

- ・ 開設日数 359日
- ・ 利用回数 2,509回
- ・ 総利用人数 64,957人（一日当たり利用者 180.9人）

内訳	市民活動室	87回	2,147人
1階	生きがい交流室（カラオケ・和洋室）	1,088回	8,886人
	喫茶コーナー“すう”	—	1,541人
	子ども広場“すきっぷ”	—	13,278人
	電位治療器“スカイウェル”		5,154人
	多目的ホール	707回	18,455人
2階	健康スタジオ	270回	7,788人
	調理室実習室	357回	7,708人

(2) 桜木生きがいデイサービスセンターの管理・経営（指定管理期間：平成29年度～令和3年度）

介護保険対象外の高齢者の方を対象に介護予防を目的に送迎・健康チェック・介護予防体操・屋内屋外レクリエーション（カラオケ、各種ゲーム、花見、カラオケ、ウォーキング等）、入浴の通所サービス事業を実施した。

- ・サービス提供日 月曜日～金曜日
- ・サービス提供時間 10:00～15:00
- ・運営日数 218日
- ・利用者数 82名（男性17名、女性65名）
- ・延利用者数 2,725名（男性644名、女性2,081名）

(3) 介護予防拠点施設シニアプラザ湯川・くすみの指定管理運営

（指定管理期間：平成29年度～令和3年度）

市内2カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に、仲間づくりを通じた生活の活性化を目的に施設の管理運営を行った。

- ・延開館日数 511日（湯川 248日、くすみ 263日）
- ・平均開館日数 254.5日
- ・延利用人員 10,791人（湯川 4,912人、くすみ 5,879人）
- ・平均利用人員 5,395.5人
- ・実施内容 手芸教室、書道教室、カラオケ教室、ウォーキング教室、童謡唱歌、絵手紙教室、介護予防体操、麻雀教室、太極拳

(4) 介護予防普及啓発事業の受託運営

65歳以上の方を対象に介護予防を目的として、体力や筋力低下を防ぐための介護予防チェックリストにより、参加者の身体状態に合わせた一次・二次の体操教室を開催した。

ア 一次予防教室（1教室10回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
7教室	鎌田温泉会館、泉会館、健康福祉センター 旧保健福祉センター、はばたき	68回	153人	1,085人

イ 二次予防教室（1教室12回）

教室数	開催場所	回数	参加者数	延べ参加者数
2教室	旧保健福祉センター	24回	17人	165人

(5) ファミリーサポート事業（子育て支援）の受託運営

子育ての支援を受けたい人（依頼会員）と支援する人（支援会員）、その両方を兼ねる人（両方会員）が会員として登録し、小学6年生までの子を対象に支援会員が自宅での預かり、保育園の送迎などの助け合いを通して、子育て世帯への支援を実施した。

- ア 会員登録数 322名（依頼会員245名、支援会員 66名、両方会員 11名）
- イ 支援活動実績 依頼件数 605件 支援件数 458件

内訳

依頼及び支援内容	依頼件数	支援件数
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	130件	106件
学童の放課後の預かり	14件	12件
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	0件	0件
子どもの習い事等の場合の援助	79件	71件
保護者等の短時間・臨時の就労の場合の援助	180件	1443件
保護者の冠婚葬祭、学校行事参加のための預かり	6件	3件
保護者等の外出する場合の援助	96件	59件
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0件	0件
他の子どもの世話や用事の場合の援助	49件	26件
その他の	51件	37件

ウ 支援会員の養成

- ・ 開催回数 1回
- ・ 開催日時及び参加者 第1日目：令和元年6月18日(火) 9:15～15:00 参加者 14名
第2日目：令和元年6月25日(火) 10:00～16:00 参加者 14名
第3日目：令和元年7月 2日(火) 9:00～16:20 参加者 14名
第4日目：令和元年7月11日(木) 9:00～16:00 参加者 14名
第5日目：令和元年7月18日(木) 9:00～12:00 参加者 14名
- ・ 内容 ファミリーサポート事業説明、子どもの接し方・遊び方、子どもの食事と栄養、子どもの世話、気になる子どもと保護者の関わり方、子育てと保健サービス、子どもの事故と安全、保育の心、身体の発達、救命講習、子育て支援センターすきっぷ見学
- ・ 講師 市子育て支援課4名(課長、保健師2名、心理士1名)、市健康推進課 栄養士1名、市幼児教育課 保育士2名、私立保育園 保育士2名、消防職員 3名

エ 会員の情報交換

- ・ 情報紙「ファミサポ通信」の発行(738部) 年間3回(5月、8月、11月発行)
- ・ 支援会員と両方会員向け情報誌「サポート通信」の発行(71部) 年1回(5月発行)
- ・ 会員交流会として、親子クッキングの実施(令和元年8月22日) 参加者 9名

オ その他の活動

- ・ スキルアップ研修として、保育実習を実施 参加者1名
- ・ 日本赤十字社に依頼し、救急救命講習を実施(令和元年12月12日) 参加者9名
- ・ ふれあい広場に参加し、周知活動を実施(令和元年9月29日)
- ・ 女性労働協会主催のアドバイザー講習会に参加(令和元年8月6日、9月6日)
- ・ 子ども子育て支援事業者連絡会に参加(年5回)

(6) 地域包括支援センターの受託運営

保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員等8名を配置し、地域包括ケアの基盤整備、総合相談支援、権利擁護、介護予防へ取り組むなど、包括的・継続的ケアマネジメント支援といった地域包括ケア推進の中核機関として活動を進めるとともに、認知症カフェ・高齢者の居場所における運営や支援を実施した。

ア 総合相談支援・権利擁護(虐待の防止)

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行い、また、高齢者の人権や財産を守るために、関係機関と連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めた。

(ア) 相談件数と相談経路

相談受付	来 所	電話・FAX等	訪 問	その他の	合 計
相談件数	469人	3,595人	1,848人	136人	6,048人

(イ) 主な相談内容

医療・在宅介護・認知症高齢者に関する相談とともに、体調変化の不安や精神的な支えを求める相談内容が著しく増えており、家族・親族とのつながりや地域での孤立した状況が伺われる。

- ・介護保険に関する相談
- ・医療に関する相談
- ・在宅介護に関する相談
- ・介護予防に関する相談
- ・施設入所に関する相談
- ・認知症高齢者に関する相談
- ・家族、経済問題等の相談
- ・制度利用の申請代行
- ・介護支援専門員への支援
- ・権利擁護、成年後見制度に関する相談
- ・住宅改修に関する相談

イ 共通的支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図った。

運 営 状 況	回数	運 営 状 況	回数
地域ケア会議	6	関係団体との会議	48
包括会議	3	研修会	16
包括部会（三職種）	19	その他（介護予防教室、サロン行事）	44

ウ 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように個々の高齢者の状況に応じたケアマネジメントの実施、介護支援専門員の資質向上のための指導・助言、他職種連携による長期的継続的な支援を実施した。

- ・ケアマネジメントへの支援 58回

エ 介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する者及び日常生活支援総合事業の対象者に対して、介護予防計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行った。

(ア) 介護予防支援（予防給付）

年間延作成件数 1,601件（直営 471件、委託 1,130件）

(イ) ケアマネジメントA（総合事業サービスのみ）

年間延作成件数 2,000件（直営 624件、委託 1,376件）

(ウ) ケアマネジメントB（訪問型・通所型サービスC等）

年間延作成件数 19件（直営 19件）

(エ) ケアマネジメントC（配食サービス等）

年間延作成件数 0件（直営 0件）

オ 認知症カフェの運営

気軽に立ち寄れる「認知症かふえCoCo」を運営し、季節に応じたレクリエーションや講話を通じて、認知症の方及びその家族が認知症に対する理解を深め、利用者相互の交流を図った。

- ・開催場所 健康福祉センター1階市民活動交流コーナー
- ・開催回数 11回（月1回）
- ・参加者数 126人

カ 高齢者の居場所づくりへの協力支援

高齢者の閉じこもりを防ぎ、健康で自立した生活の継続を目指し、レクリエーション・体操・お茶会等を実施し、関係機関と協力して居場所の運営を行った。

- ・実施地区 7カ所・述べ 9回

- ふらっと湯川2回、サロンまつばら、丸山町居場所2回、かどの台カフェ、笑いヨガサロンにっこにこ、本郷きずな、おしゃべりサロンふじのゆめ
- 実施場所 シニアプラザ湯川、ふれあいセンター、丸山町集会所、かどの台管理事務所、本郷会館、シルバー交流センター

(7) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の受託運営 [県社協委託事業]

高齢による認知機能の低下や障害から判断能力が不十分な方々が安心して暮らせるように福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施した。

ア 会議及び研修

- 研修会名 令和元年度日常生活自立支援事業専門員連絡会
日 時 令和元年7月29日(月)
場 所 静岡労政会館
- 研修会名 市町社会福祉協議会 権利擁護事業業務責任者・担当者会議
日 時 令和2年1月22日(水)
場 所 あざれあ

イ 相談件数 209件

内訳：認知症高齢者 68件、知的障がい者 35件、精神障がい者 58件、その他 48件

訪問・調査件数 93件、契約締結件数 0件、生活支援員数 4名

(8) 生活困窮者自立相談支援事業・家計相談支援事業の受託運営

生活に困窮する方や社会的に孤立する方に対し、生活保護に至る前の経済的・社会的自立を目的として、市社会福祉課内に自立相談支援事業所「暮らし相談センターこころ」を開設、主任相談支援員・相談支援員・家計相談員3名により自立相談支援及び家計相談を実施した。

ア 情報提供・相談対応 117人

相談支援員の助言・指導により相談者が抱える生活課題の支援を行った。

相談内容	件数
病気や健康、障害のこと	20件
住まいについて	20件
収入・生活費のことについて	71件
家賃やローンの支払いのこと	20件
税金や公共料金等の支払いについて	16件
債務について	13件
仕事探し、就職について	28件
仕事上の不安やトラブル	3件
地域との関係について	2件
家族との関係について	11件
子育てのこと	2件
介護のこと	4件
ひきこもり不登校	4件
DV・虐待	0件
食べるものが無い	8件
その他	17件
計	239件

相談件数は、複数該当のため、相談件数とは一致しない。

イ 他制度・他機関へのつなぎ支援 47人

相談者の課題を把握し他制度・機関と連携しながら支援を実施した。

つなぎ先機関	人数
社会福祉課 障害福祉係	6人
その他障害者支援機関・施設	3人
高齢者福祉課	3人
地域包括支援センター	5人
子育て支援課	1人
家庭児童相談室	1人
社会福祉課 生活保護係	23人
小口資金(生活福祉資金除く)	1人
法テラス・弁護士・司法書士	1人
社会福祉協議会(資金、日常生活自立支援以外)	1人
その他行政の担当部署	2人
合 計	47人

ウ 支援プランの作成 24人

相談受付後、相談者の経済的自立・社会的孤立からの脱却を目標とする支援プランを作成し、生活困窮者自立支援事業法に基づくその他の事業及び関連する事業と連携し支援を実施した。

【プラン作成者の支援内訳】

事 業・制度名	支 援 内 容	利用回数
住居確保給付金	住居喪失又は恐れのある者への家賃給付	3回
一時生活支援事業	ホームレス支援	2回
家計相談支援事業	家計管理意欲の向上を目的とした支援	10回
就労準備支援事業	就職活動前の生活習慣の改善等の支援	7回
認定就労訓練事業	就労訓練の支援	0回
自立相談支援事業による就労支援	就労訓練の支援	9回

(ア) 家計相談支援事業プランの作成 7人

自立相談支援事業のプランを作成する相談者で、自立のために家計収支の改善や家計管理能力の向上のプランを作成した。

(イ) 支援調整会議の開催 41回

市担当職員、支援実施機関担当者、社会福祉協議会統括責任者、自立相談支援員、家計相談員、就労支援員で構成し、本会議にて相談者の支援プラン(案)を確定(決定・確認・評価・終結)した。

支援プランの決定	24件
支援プランの評価	22件
支援プランの終結	13件

(9) 生活支援サービス推進事業の受託運営

介護予防・日常生活支援総合事業において、高齢者を地域で支える仕組みづくりや助け合い活動を進める生活支援サービス提供体制づくりを行った。

ア 生活支援サービスサポーター養成講座の開催

市高齢者福祉課、地域包括支援センター等の協力により市民を対象に生活支援の担い手の養成を図った。

回 数	開 催 日	場 所	受講者	内 容
第1回	令和元年 8月 1日(木)	健康福祉センター	11名	福祉制度説明、地域課題の理解と地域づくり、高齢者の理解、コミュニケーション技術、会員登録
第2回	11月27日(水)	伊東市役所	14名	
第3回	令和2年 1月23日(木)	宇佐美コミセン	20名	
計			45名	

イ 生活支援サポーターの登録状況

生活支援サポーター養成講座終了者のうち、支援活動への協力者の登録を行った。

登録者数	43人	登録圏域	宇佐美圏域15人、伊東圏域 5人、中央圏域 3人 小室圏域 10人、対島圏域10人
------	-----	------	--

ウ 生活支援サービスの需給調整（サービスのマッチング状況）

- ・生活支援(無償):ゴミ出し等 1件 延支援回数 65回
- ・生活支援(有償): なし

エ 第二層協議体勉強会

- ・日時 令和元年6月20日(木) ・場所 伊東市役所

オ 事業推進及び地域づくりのための啓発活動

(ア) 生活支援サポーターへの事業進捗状況の報告及び追加講習会

- ・日時 令和元年10月30日(水) ・場所 伊東市役所

(イ) 合同相談会の開催

- ・日時 令和2年2月9日(日) ・場所 伊東ショッピングプラザ デュオ

(ウ) 事業活動の紹介展示

- ・日時 令和元年11月17日(日) ・場所 健康福祉センター

カ 関係機関とのネットワークの構築

市高齢者福祉課及び市内各圏域第二層生活支援コーディネーターとの定例会議を開催し、連携強化及び情報共有を実施した。

- ・実施日 10回（令和元年4月17日、5月15日、7月17日、8月21日、9月18日、10月16日、12月18日、令和2年1月9日、2月19日）

出席者 6名（市高齢者福祉課、第一・二層生活支援コーディネーター）

- ・勉強会 実施日 6回（4月26日、8月29日（清水町見学）、11月21日、11月22日、11月26日（沼津市見学）、12月12日）

出席者 6名（市高齢者福祉課、第一・二層生活支援コーディネーター）

キ 地域の居場所づくり・運営への支援

地域の高齢者のつながりをつくり、健康で自立した生活の継続を目標にレクリエーション・体操・お茶会等を実施し、関係機関と協力して居場所の継続的運営への支援を行った。

- ・ 宇佐美地域居場所「ほのぼのサロン」 14回
- ・ 松原地域居場所 「サロンまつばら」 7回
- ・ 湯川地域居場所 「ふらっとゆかわ」 9回
- ・ 岡地域居場所「本郷きずな」 1回
- ・ 門野地域居場所「かどの台カフェ」 1回
- ・ 富戸地域居場所「イトーピアサロン」 4回
- ・ 八幡野地域居場所「ふるさとカフェ」 1回

(10) 地域介護予防活動支援事業の受託運営

南伊東地域センターなごみにおいて、地域の高齢者の交流と介護予防の拠点として、気軽に立ち寄り、介護予防の体操、ゲーム、談話を楽しみながら、地域の絆づくりを深めるサロンを実施した。

- ・ 開 催 週5日 13:00～15:00
- ・ 開設日数 221日
- ・ 参 加 者 3,711人
- ・ 内 容 健康体操と講話12回

(11) 子育てサロン受託事業の受託運営

旧伊東幼稚園湯川分園に保育士資格を有する職員を配置し、未就園の子育て中の親子を対象に子育てに関する相談、親同士の交流を図り、安心して過ごせる場を提供する事業を実施した。

- ・ 開設日数 195日間
- ・ 利用者数 85人
- ・ 延利用者 3,889人 (保護者延1,775人、児童延2,114人)

(12) 福祉関係団体等事務局受託事業

市内福祉関係団体の事務局の運営及び当事者団体の事務局運営の支援を行った。

ア 民生委員児童委員協議会の事務局運営

- 事務内容
- ・ 民協理事会 (月1回)
 - ・ 主任児童委員会 (隔月1回)
 - ・ 総 会 (年1回、5月)
 - ・ 県、県社協との連絡調整
 - ・ 各部会研修 (年1～2回程度)
(高齢者福祉部会、地域福祉部会、児童福祉部会、障害児者福祉部会)
 - ・ あゆみの編集委員会の運営、発行
 - ・ 民生児童委員活動の実態把握
 - ・ 民生児童委員活動に関する相談・支援 (随時)
 - ・ 会計事務

イ 日本赤十字社事務局運営事業

- 事務内容
- ・ 社員の募集
 - ・ 献血運動の準備
 - ・ 災害支援金の受付
 - ・ 助成事業
 - ・ 県支部との連絡調整

・会計事務

ウ その他福祉関係団体（伊東市手をつなぐ育成会）

事務内容 ・総会の準備、広報紙の印刷、交流会事業等への協力

(13) 思春期保健相談事業受託事業

思春期を迎える子どもたちを対象に、心身に関する様々な不安や悩みに円滑に対応するため、保健、医療や教育機関とも連携を図りながら思春期保健相談事業を受託実施した。

- ・ 設置場所 健康福祉センター（令和元年6月1日から）
伊東市立伊東幼稚園湯川分園（令和元年5月31日まで）
- ・ 相談日 毎週水曜日 午後2時から午後5時まで（令和元年6月1日から）
第2・第4土曜日 午後2時から午後6時まで（令和元年5月31日まで）
- ・ 開設日数 49日
- ・ 相談者数 8人（延べ相談者数25件）
- ・ 相談方法 メール、SNS、電話
- ・ その他 母子保健事業における思春期保健に関する業務 7日
伊東商業高等学校のPR活動 2日
市内中高生を対象とした赤ちゃん触れ合い体験事業への協力活動

(14) 子どもの居場所づくりの推進受託事業（2 地域福祉事業-（2）子どもの居場所づくりの推進関連事業）

少子化が年々進む中、地域の子どもが孤立・困窮しないように安心・安全な居場所づくりを広めることを目的に運営財源及び立上げ費用の助成制度を実施した。

- ア 運営費助成 6カ所（宇佐美地区、川奈地区、岡地区、八幡野地区、松原地区 2か所）
47回 285,000円
- イ 立上げ助成 2カ所（松原地区 2か所） 3回 115,000円

5 公益事業（職員派遣事業）

(1) 中央地域包括支援センターへの職員派遣事業を実施した。

- ・ 派遣職員 3名（主任介護支援専門員1名、社会福祉士1名、介護支援専門員 1名）
- ・ 派遣業務 総合相談業務及びケアプラン作成業務
- ・ 派遣先 伊東市役所 高齢者福祉課内
- ・ 派遣期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(2) 在宅医療介護連携・認知症総合支援事業への職員派遣事業を実施した。

- ・ 派遣職員 1名（看護師）
- ・ 派遣業務 医療と介護連携のための連絡調整及び認知症の理解及び地域支援
- ・ 派遣先 伊東市役所 高齢者福祉課内
- ・ 派遣期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(3) 指定児童発達支援所への職員派遣事業を実施した。

- ・ 派遣職員 1名（社会福祉士）
- ・ 派遣業務 障害児家族への相談支援
- ・ 派遣先 指定児童発達支援所さくら園
- ・ 派遣期間 平成31年4月1日～令和元年9月30日

6 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会（委員数30名）の開催

年 月 日	審 議 案 件
令和元年 6月20日 (出席者25名)	平成30年度事業報告並びに寄附金会計・事務費会計決算の認定について
令和元年 8月26日 (出席者26名)	令和元年度共同募金(赤い羽根)実施計画の認定、令和元年度県共同募金の申請状況の報告
令和元年11月25日 (出席者25名)	令和元年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、令和元年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
令和2年1月31日 (出席者25名)	令和元年度歳末たすけあい運動募金の実績及び配分結果報告
令和2年3月30日 (出席者19名)	副会長の選任、令和元年度寄附金会計・事務費会計補正予算、令和2年度事業計画並びに寄附金会計、事務費会計予算の認定

(2) 共同募金（赤い羽根）運動

ア 募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により、市民各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金

(単位 円)

県 目 標 額 (広域目標額)	市 目 標 額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
2,760,000	3,540,000	4,156,456	1,353,788	115,527	290,944	5,916,715

イ 県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額（令和元年度募金実績による配分）

配 分 先	金 額	摘要	要
本市社会福祉協議会	3,402,285円	令和2年度地域福祉活動事業助成金	
事 務 費	287,200円	赤い羽根事務費205,200円、歳末たすけあい82,000円	
合 計	3,689,485円		

(3) 歳末たすけあい運動

ア 募金実績額

目標額に達しており、募金実績額は配分総額を上回っている状況である。

目 標 額	区 分 别 実 緒 額			合 計
	大 口	街 頭	窓 口	
2,800,000円	1,223,000円	603,092円	1,028,843円	2,854,935円

イ 配分内容

生活に困窮する世帯(第二種世帯)を申請制度にしたことにより、前年より減少した。

配分対象	配分金額	摘要
第二種世帯	1,096,000円	第二種世帯60世帯152人、第二種新入学児童8人
在宅障害者	576,000円	特別障害者手当受給者 61人、精神障害者 11人
在宅障害児	152,000円	障害児福祉手当受給者 19人
交通遺児	0円	交通遺児 一人
在宅ねたきり老人	464,000円	在宅ねたきり老人 58人
子ども居場所団体	50,000円	5団体
配分経費	50,318円	通信運搬費、消耗品
令和2年度事務費	82,000円	次年度事務経費準備金
合計	2,470,318円	

※募金実績額と配分総額（次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。）の収支差384,617円は、次年度の赤い羽根共同募金配分金事業費に充当します。

(4) 老人福祉活動事業

老人クラブ連合会に対し、運営及び事業へ助成を行った。

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会ゲートボール大会
- ・老人クラブ連合会演芸、大会
- ・老人クラブ連合会交流懇親会

(5) 障害児・者福祉活動事業

- ・手をつなぐ育成会への助成

(6) 児童・青少年福祉活動事業

ア 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額760,300円の助成を行った。

イ 子どもの遊び場助成事業（申請なし。）

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

ア 福祉団体助成事業

本会と協働し、地域福祉活動を進める関係機関・団体に助成した。

- ・配分対象 11団体 配分額 957,000円

イ 災害見舞金支給事業（風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金の支給）

・火災見舞金

支給件数 2件 支給総額 40,000円

[全焼(20,000円)2件、半焼(10,000円) 0件、一部焼(5,000円) 0件、半壊(10,000円) 0件]

・台風第15号・19号見舞金

支給件数 309件 支給額 1,700,000円

[全壊20,000円)0件、半壊(10,000円) 31件、一部壊(5,000円) 278件]

ウ 緊急食糧配布事業

その日の食べ物にも事欠くという緊急性の高い困窮者に、2日分の食糧支援を行った。

- ・利用者 20人
- ・延利用回数 26回
- ・配布食数 30人分（2日分／人）

7 貸付金事業

他機関からの借り入れが困難な低所得世帯を対象に、民生委員児童委員と連携を図り、緊急に生活費を必要とする世帯に資金の貸付と相談援助を行い、世帯の自立のための支援を行った。

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円）を貸し付け、経済的支援を行った。なお、貸付金額は前年比7.6%減であり、償還率は69.1%である。

本年度貸付件数・貸付金額	回 収 金 額			未回収金額	欠損処分額
61件 1,512,000円 (前年度64件1,636,000円)	現年度分	64回	1,045,000円	467,000円	0円
	過年度分	29回	399,000円	8,103,420円	0円
	計	93回	1,444,000円	8,570,420円	0円

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5ヶ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

高額医療費の支払に困窮する国保被保険者に無利子で資金を貸し付け、生活の安定を支援した。

本年度貸付件数・貸付金額	回 収 金 額			未回収金額	欠損処分額
8件 1,118,000円 (前年度16件2,294,000円)	現年度分	7回	1,095,000円	23,000円	0円
	過年度分	3回	592,000円	475,625円	0円
	計	10回	1,687,000円	498,625円	0円

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、市社会福祉協議会が窓口となって、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行った。

種 別	件数	貸 付 金 額	貸付対象者	貸付の内容
総合支援 資 金	---生活支援費	0件	0円	生活再建のための生活費
	住宅入居費	0件	0円	低所得者世帯 住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	0件	0円	公共料金、転居費用等
福祉資金	福 祉 費	3件	820,000円	低所得者世帯 障害者世帯 住宅改修費用等
	緊急小口資金	2件	200,000円	高齢者世帯 一時的な生活費
教育支援 資 金	教 育 支 援 費	0件	0円	就学に必要な経費
	就 学 支 度 費	0件	0円	入学に際し、必要な経費
不動産担保 型生活資金	不動産担保型 生活資金	0件	0円	高齢者世帯 不動産を担保に老後の生活資金の貸付
計		5件	1,020,000円	

※貸付利子：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利子、連帯保証人がない場合は年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利

(4) 臨時特例つなぎ資金

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失していることを条件に無利子で一時的な生活費（10万円以内）の貸付の相談支援を行う。

件数	貸付金額	対象者	貸付の内容
0件	0円	住居損失の離職者	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

8 指定訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や生活援助等のホームヘルプサービスを提供した。

ア 配置職員数 常勤4名・非常勤7名 (非常勤1名・登録6名)

イ 年間延利用者数 494人

ウ 1ヶ月当たり利用者数 41.2人

エ 年間サービス提供時間 5597.2 時間

内訳	区分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
	時間数	950.5時間	1,278.1時間	1,167.1時間	2,201.5時間
構成比	17.0%	22.8%	20.9%	39.3%	

オ 1ヶ月当たりサービス提供時間数 466.4時間

9 居宅介護支援事業

利用契約された要援護高齢者に対し、個々の解決すべき課題に応じた介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、要援護者の自立支援を行った。

ア 配置職員数 常勤3名 (内1名嘱託)

イ 年間延作成数 850プラン

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	作成数	314	296	81	86	73
構成比	36.9%	34.9%	9.5%	10.1%	8.6%	

ウ 1ヶ月当たり作成数 70.8人

エ 介護予防プランの受託 (地域包括支援センターからの受託事業)

介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行った。

介護予防プラン年間延作成数 192プラン

オ 介護認定調査 (委託事業) 50件

10 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施した。

(1) 居宅介護事業

ア 実利用人員 13人

イ 年間延利用人数 139人

ウ 年間サービス 2,272.5時間

提供時間数	内訳	区分	身体介護	家事援助	同行援護	移動支援
		時間数	939.5時間	1,054時間	258.0時間	21.0時間
構成比		41.3%	46.4%	11.4%	0.9%	

11 そ の 他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援を行った。

(1) 伊東市 遺族会が実施する戦没殉難者慰靈祭（実施日 令和元年5月27日（月）会場 小室山公園）の式典運営への協力を行った。

(2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行った。

(3) 旧保健福祉センターの管理（地域開放）

地域高齢者の活動の拠点として、地域老人クラブの生きがい活動及び隣接障害者施設、介護予防活動を実施した。

・利用回数 355回 [利用団体:6団体(高齢者関連5、障害関連1)、介護予防事業]

・利用人員 5,740人

以上